



崇高な進歩へ — 自分を律し、他者への共感を育む
より良い選択 & より良さを追求

第2学年主任 佐藤 輝和

こころ M I G A K I

— 当たり前の徹底(凡事徹底) — 有り難さの追求 —

お知らせ 12月21日 JTB社より 第1希望どおり 4月26日(水)東京ディズニーランド OK回答が届きました
＜ 寒梅コラボ学習Ⅱ～掲載記事紹介 ＞

12日第三種郵便物認可

(日刊) 大崎 タイム ス

(3) 2022年 (令和4年) 12月22日 (木曜日)

新商品のアイデアを出し合う生徒たち



2年生は地域学校協働活動として、古川の特色や特産物を中心に、月に古川柏崎の寒梅酒造(岩崎健弥代表社員)「専レシビ」「日本酒

この日、生徒たちは「専レシビ」を進めようという話をまとめた。

地域学校協働活動の一環

大崎市古川西中で20日、学区内の酒蔵と生徒がコラボレーションして新商品を開発する授業が始まり、2年生48人がアイデアを出し合つて感元にプレゼンテーションした。商品はパティシエらの協力を得ながら、卒業までの発売を目指す。

古川西中 2年生 卒業までの発売を目指す

酒蔵とコラボし商品開発



「ラベル・パッケージ・デザイン」「コピラ イティング」の4部門に分かれて話し合った。このうち菓子レシビ部門では、同酒蔵の日本酒を含む地域の特産品を使うコンセプトで進行。生徒たちからは「米どころだから米粉は外せない」「屋敷林の居久根に植えているミントなどを活用できないか」といったアイデアが次々と飛び出し、「酒かすと米粉を使ったタルト」という

具体的な商品にまで踏み込んだ。



2022/12/16



2022/12/16



2022



2022/12/16

授業を見学した同酒蔵の代目蔵元、岩崎真奈さんは「若者らしい柔軟な意見がどんどん出てくる」と感心。プレゼンテーション後の講評では「こうしちやいけない」という決まりはない。極めつきの逸品を作るため、話し合いを続けてほしい」と生徒たちを激励した。一 瓶瑞穂さん(14)は「今まで学んだ地域の魅力を改めて考え直した時間だった。自分のアイデアが新商品に反映されたい」と話していた。

